

門別競馬場きゅう舎新築工事に伴う  
電気設備インフラ工事－ 1

特 記 仕 様 書

一般社団法人北海道軽種馬振興公社

## 1. 総則

### 1-1. 工事の名称

門別競馬場きゅう舎新築工事に伴う電気設備インフラ工事ー 1

### 1-2. 発注者

一般社団法人北海道軽種馬振興公社

〒055-0008 沙流郡日高町富川駒丘 76-1（門別競馬場内）

TEL 01456-2-2501

FAX 01456-2-2503

理事長 大鷹千秋

### 1-3. 工事の場所

北海道沙流郡日高町富川駒丘 76-5 ほか

### 1-4. 工事の目的

当該箇所において、きゅう舎新築に伴うきゅう舎エリア内及び業務エリア内設備の給電を目的とした電気インフラ（強電）工事及び設備給電工事を実施する。

### 1-5. 概要

本工事は、きゅう舎エリア内設備への電気インフラ（強電）の構築及び業務エリア内設備への電気インフラ（強電）の構築工事である。

なお、本工事の工期内において、同一敷地内において別途工事が複数施工される計画である。きゅう舎建設工事の工事施工者（全8工区）のほか、きゅう舎建設用地整備工事（全8工区）の工事施工者とも相互に協力し円滑に工事を進捗させることを目的とした工事調整及び工事調整を行う統括管理業務者に協力すること。

また、本工事では以下の工事を実施する。

#### 【きゅう舎エリア内工事】

- ・受変電設備工事 1 式
- ・高圧幹線設備工事 1 式
- ・低圧幹線設備工事 1 式
- ・計量設備工事 1 式
- ・動力設備工事 1 式
- ・外灯設備工事 1 式

ほか

### 1-6. 工期

契約締結日の翌日から令和7年8月31日まで とする。

## 2. 適用

### 2-1. 適用基準（すべて最新版に準拠すること）

「公共建築工事標準仕様書（各工事編）」

「公共建築設備工事標準図（各工事編）」

「北海道建設部建設局建築整備課最新版設備機材等指定名簿」

「電気設備工事（配・分電盤等）標準仕様書 北海道建設部建設局建築整備課最新版」

「電気設備に関する技術基準を定める省令」  
「内線規程」

さらに、上記共通仕様書及び後述の特記仕様書に記載の無い場合は、関連する要綱、指針、基準等に準拠し、その適用にあたって工事監督員と充分協議し承諾を得て進めること。

### 3. 特記仕様書

#### 3-1. 共通事項

本工事は、2-1. 適用基準に準拠する共通仕様書等及び電気設備インフラ工事－1及び電気設備インフラ工事－2の特記仕様書に基づき計画をする。

また、電気設備インフラ工事－2 特記仕様書内、電気設備共通事項の内容を追記及び下記に読み替えるものとする。

1. 追記：電気主任技術者は、電気設備工事現場開始日までに選任すること。
4. 読み替え：無償を損料等の費用は、設置者と協議すること。
5. 補足：交通誘導警備員は土木工事で配置されているが、費用に関しては土木工事業者と協議すること。
6. 補足：工事用動力水等は、引き込みしている業者と使用料を協議すること。
7. 読み替え：令和元年度版を最新版とする。
- 1 6. 読み替え：令和元年度版を最新版とする。
- 1 7. 追記：屋外の金属管は、塗装すること。
- 2 6. 追記：導入線のサイズは、1. 2mmとする。

建設地の気候等を鑑み、風雪時や寒冷期の凍結や機能障害などを考慮すること。

業務エリア及びきゅう舎エリア作業に於いて曜日、時間等の作業制限がかかることがある事を考慮すること。

きゅう舎エリア内での建柱位置は、土木工事及び建築工事と調整を必要とする。(きゅう舎付近は、原則、きゅう舎区画内での計画となる。)

受電は、工程上、7月末日を目標として計画をする。

既存棟の設備との切替工事に作業制限がかかることがあることを考慮すること。

落札者は、先に開始されている土木工事、建築工事の工事工程を確認及び調整をしてから工事開始をすること。

R6 年度内の工事として「受変電設備工事のボーリング接地工事＋一部建柱程度」を見込むこと。

#### 3-2. きゅう舎エリア内工事

きゅう舎エリア内の各きゅう舎区画に電源供給する設備及び外灯を整備すること。

また、業務施設エリアへの電源供給を整備すること。(詳細は、設計図による)

##### (1) 受変電設備

キュービクルの仕様の詳細は、設計図を参照すること。

QB-A、QB-B 各々に接地を計画すること。

キュービクルの基礎は、建築工事とする。

##### (2) 高圧幹線設備工事

国道235号線側北電柱よりきゅう舎エリア内に引込みを計画すること。

きゅう舎内エリア（以後、構内と読み替える）へは、引込み第一柱より高压引込でQB-A、QB-B へ供給する。

引込負担金が発生する場合は、受注者負担とする。

構内配電は、QB-A、QB-B より構内全域、きゅう舎内エリア及び業務エリアにコンクリート柱を建柱し装柱した変圧器を経由して高压配電をする。

QB-B より既存棟へ給電する高压配電線を計画しきゅう舎エリア受電と同時に切り替える計画とする。（詳細は、設計図による）

（３） 低圧幹線設備工事

構内配電柱に装柱した変圧器より各きゅう舎へ及び付属棟へ低圧配電を計画する。

きゅう舎側には、引込開閉器盤を設け電力量計を設置できるように計画すること。

（詳細は、設計図による）

（４） 計量設備工事

既存管理棟に管理 PC を設けきゅう舎エリアの電力量等を計量する。

各きゅう舎引込開閉器盤に電力量計（スマートメーター）を計画し電力量を計画する。

スマートメーターの無線親機は、公衆便所 EPS 内に計画する。

既存管理棟への光ケーブルルートは、高压幹線設備の配電ルートを利用する計画とする。

QB-A、QB-B に電力設備計量設備を計画する。（詳細は、設計図による）

（５） 動力設備工事

QB-A より既存業務エリア内ポンプ電源を供給する計画とする。

QB-B より公衆便所給水ポンプに電源を供給する計画とする。（詳細は、設計図による）

（６） 外灯設備工事

構内全般に外灯を計画すること。（詳細は、設計図による）

### 3-3. 各種調整事項

きゅう舎区画外には、公衆トイレ、馬乗降場所、ロンジング場（ロンギ場）、馬体重計量上屋、ゴミ庫その他付帯施設ほかの整備がある。

電気設備工事については、きゅう舎建設用地整備工事（通信インフラ）、きゅう舎建設用地整備工事（給排水等）の各工事との工事区分については、設計図を参照し各工事と調整し施工すること。

### 3-4. 統括管理者への協力

工区全体の工事工程の調整、全体敷地への搬入車両等の入退場の調整及び管理、工事定例の主事は統括管理者が担う業務となります。本工区施工者は統括管理者が主導する各種調整に対して、他工区施工者と共に相互に協力し、自工区だけでなく工区全体の工事が円滑に進捗するように努めること。

### 3-5. その他

（１） 現場事務所・資材置場・駐車場等

工事施工にあたり門別競馬場敷地内には、現場事務所・資材置場・駐車場等を設置するスペースがないため、競馬場周辺かつ競馬開催に影響のない場所にスペースを確保すること。なお、工事総合定例の開催場所は公社が準備するものとする。

（２） 工事期間中の安全対策

工区の安全管理を行うこと。また、競馬開催日には総合的な安全対策を行うこと。

### (3) 工程計画に関する注意事項

工事施工にあたっては、競馬開催の有無にかかわらず1年を通して、競走馬への配慮が必要です。特に音を伴う工事については、事前に監督員と十分な協議を行い競馬や工事に影響がないように調整すること。制限については別紙「工事作業制限範囲」を参照のこと。

### (4) 設計変更への対応

設計変更が生じた場合はその都度協議すると共に、本仕様書は設計変更が生じた場合にはその都度、増廃、または追補するものとする。

### (5) 補足事項

(電) 13図、14図、16図、17図の工事区分は、引込開閉器盤（スマートメーター実装）を含む一次側配線工事等及びD種接地工事を本工事とする。

(電) 15図は、きゅう舎建築工事区分とする。

(電) 18図は、給水ポンプ盤、分電盤の一次側配管配線を本工事とする。（給水ポンプ盤、分電盤は、きゅう舎建築工事）

(電) 20図～24図、26図は、きゅう舎建築工事区分とする。

# 計画位置図

A1 S=1/10000  
A3 S=1/20000





## 工事作業制限範囲(参考)

工事を施工できない時間およびエリア



坂路利用時間 (AM2:30~AM11:00)

大きな音の出る工事 (打撃音など)



走路利用時間 (AM2:30~AM10:00)

(開催期間中 原則金曜を除く)

(冬季間 原則日曜を除く)

能力検査 (午後・終了後発走練習)



競馬開催日 (終日)

非開催日 AM (金曜を除く)

